

博物館あれこれ

■平成21年度

4月・5月・6月・7月・8月・9月・10月・11月・12月・1月・2月・3月

3月（弥生）

3月3日
井田川公民館出前講座



井田川公民館が開催する高齢者教室に、土笛・勾玉づくりの出前に出かけました。

3月11日
岡田文化財団



平成22年度の特別展について岡田文化財団から助成をいただくことになりましたので、贈呈式に館長が出席しました。

3月12日
生放送



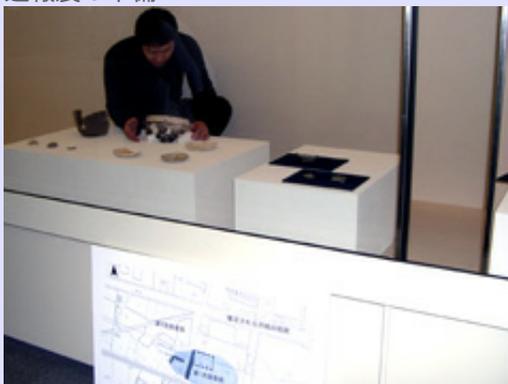
写真だとありふれた仕事風景にしかみえませんが、地元FM局（Suzuka Voice FM）さんの生放送（電話取材）に出演の真っ最中です。

3月17日
梅



梅の見ごろもそろそろ終わりです。2月から3月にかけては国分の天神さん（菅原神社）の梅見がてら、博物館に寄っていただくお客様が多いです。（案内マップも用意しています）桜の季節も是非どうぞ。

3月18日
速報展の準備



企画展の撤収と資料の返却が済むと、息つく間もなく速報展の準備です。何しろ少数精鋭でやっていますから。

3月20日
寺院・官衙シリーズ講演会



今年度の締めとして、齋宮歴史博物館の山中由紀子さんに「皇女の都『齋宮』の夜明け～大来皇女の時代～」と題した講演をしていただきました。45名の参加がありました。やはり齋宮については関心が高く、質疑応答が盛り上がりました。

2月（如月）

2月3日
雪景色



この冬初めて本格的な雪景色になりました。

2月18日
亀山西小学校見学



勾玉づくりや火起こし体験の出前授業でよく利用していただいている亀山西小学校の皆さんがわざわざ見学に来てくれました。

2月20日
トンボ玉を作ろう



トンボ玉をつくろうの体験講座を行いました。トンボ玉を2個作成して、出来の良いほうにガラス小玉を追加してストラップにしました。

1月（卯月）

1月6日
神戸高校資料引き取り

1月9日
図書仕分け

1月10日
国分寺跡



12月25日とこの6日で神戸高校の郷土史クラブが所有していた考古資料の引き取りが完了しました。

1月15日
展示作業



企画展のオープンを前に展示作業の追い込みです。資料の配置はスムーズだったのですが、キャプションの手直しや配置にこだわってやっぱり夜おそくまでの作業になりました。

1月22日
遺物整理作業



神戸高校からお預かりした遺物の整理作業も進んでいます。青谷遺跡発掘の土器などについては参考資料として展示されたいということなので、復原の手直しをしてお返りする予定です。

12月1日
新しい車いす



宝くじ協会助成博物館整備事業として日本博物館協会を通じて新しい車いすを寄贈していただきました。



さるご縁で、段ボール箱70箱ほどの図書をいただきました。博物館の図録類や高価な美術書も多く大変ありがたいです。ただ、個人の方の蔵書で文学書などさまざまな図書も混じっていて仕分けが大変でした。考古・古代史の単行本については順次ラボで公開させていただきます。

1月15日
花のボランティア



十五夜観月会のご縁で、嵯峨御流の方に企画展オープンと講演会に合わせて生け花のボランティアをしていただきました。軽トラいっぱい樹木が運び込まれたときはどうなるかと思いましたが、ダイナミックな作品を仕上げていただきました。

1月24日
古代朝明の風景



四日市市博物館の企画展「古代朝明の風景-久留部官衙遺跡展」には、当館の河曲郡衙正倉模型をお貸ししています。最終日になって展示の様子を見学に行くことができました。このように平面ガラスケース内に収められると常設展示室で普段見慣れているよりかなりデカく感じられます。

12月（師走）

12月7日
特別展撤収



再び丁寧に梱包されて、借用先に返還されます。



国分寺跡にわずかに残っていた樹木の撤去作業が終わりました。今後、残された石碑類も撤去され、全面に遺構保護のための盛土工事が行われます。

1月16日
企画展講演会



企画展のオープンにちなみ奈良文化財研究所都城発掘調査部遺構研究室長の箱崎先生に「国分寺と奈良時代の建築」と題して講演していただきました。国分寺への関心は高く60名の方に参加していただきました。

1月24日
自然観察会



環境政策課の主催で「落ち葉の中の昆虫観察会」が開催されました。

12月17日
植栽作業



苗をいただきましたので博物館進入路の三角地にサツキとオタフクナンテンを植えました。サツキは伊勢路紅・伊勢路紫・伊勢小

12月24日
常設展示室大掃除



ケース内の常設展示の遺物をすべて出し、重くて普段は外せない瓦展示のガラスも外して1年分のほこりをふき取りました。合わせて企画展のための瓦の移動も行いました。

11月（霜月）

11月5日
サポート会反省会・勉強会



十五夜観月会実行委員会の反省会では来年に向けて真摯な議論が行われました。反省会の後は、特別展示室に移って和気あいの勉強会となりました。

11月16日
河曲郡衙正倉模型貸出



四日市市教育委員会が12月5日から開催する「古代朝明の風景 久留倍遺跡展」に展示のため、河曲郡衙正倉の模型を借用に見えました。何しろ1×1.4mもある大物ですから取り外しも、梱包も大がかりでした。跡地にはデジタルフォトフレームをおいて関連画像を流しています。

10月1・2日
特別展展示



今回の展示は玉が中心ということで資料数は約2700点もあります。展示作業は品物と

11月10日
職業体験



12日までの3日間、神戸中学校の生徒さん3名が博物館で職業体験です。瓦の詰まった整理箱のあげおろしはかなりこたえたようです。

11月29日
サポート会講演会



磐田市教育委員会の安藤さんに「特別史跡 遠江国分寺跡の発掘調査と整備活用」というテーマで講演していただきました。この事業は考古博物館サポート会が勉強会と普及活動を兼ねて企画したものです。

10月（神無月）

10月7日
橋北公民館



この時期はありがたいことに団体の見学が多くなります。今日は津市の橋北公民館が来館

町の3種でサツキとツツジのハイブリッドでイチ押しの改良種だそうです。

11月16日
みのり会



みのり会（市内の造園業者の若手のみなさん）のボランティア活動として、博物館入口付近の剪定と植樹をしていただきました。ありがとうございました。

10月3日
十五夜観月会



前日まで悪天候が続きましたのでどうなる事かと心配でしたが、サポート会ほか多くの

数を慎重に確認しながら進めますのでいつも以上に大変でした。いつもとはちょっと違った落ち着いた感じの展示です。

10月10日
関連講演会



今回はいつもと趣を変えて奈良女子大学の岩崎先生に服飾を中心としてお話をさせていただきました。新疆での調査など興味深い話が多かったです。

されました。関心のまとはやはり特別展の垂飾付き耳飾りですね。

10月11日
10・10祭り



10・10（てんてん）祭りは地元の国分町が天神さんのお祭りにちなんで行っている、街をあげての賑やかなイベントです。博物館も町民文化祭の一角にささやかな出張展示をさせていただくとともに、ウォークラリーに協力しました。

ボランティアの方の大活躍により成功のうちに終了しました。

10月17日
実りの秋



博物館周辺には野外学習のことを考えてドングリが何種類か植えてあり、しっかり実がつくようになってきました。あく抜きをせずに食べられるスダジイも3本植えてあり、煎って軽く塩をするとちょっとしたおつまみになります。

9月（長月）

9月2日
企画展撤収



撤収作業も、実習の一貫として学芸員実習生に参加してもらって行いました。実際に返却される資料の梱包なので真剣さもひとしおです。

9月13日
つるカゴを編もう



人気の体験講座です。来年はランプシェードに挑戦しようかと意欲的です。

9月20日
準備万端？



10月3日の十五夜観月会に向けて、灯火の配置などを確認するためのリハーサルを行いました。

8月（葉月）

8月1日
土器見会



埋蔵文化財Gの主催で土器見会（勉強会）が開催されました。会場の整理実習室には八重垣神社遺跡・須賀遺跡等出土の弥生土器がずらりと並べられ、熱気であふれていました。検討の成果は必ずや報告書の作成に活かされることでしょう。

8月4日
助っ人



4日～6日には三重大学の学生さんにボランティア体験として大学参加していただき、勾玉・土笛作りをサポートしていただき大いに助かりました。

8月5日
アンギン2回目



期日限定講座アンギンを編もうの2回目です。今回は大盛況でした。

8月14・16日
虫カゴづくり

8月20日
土笛焼き

8月27日
古墳模型



麦わらを折り曲げながら重ねていくだけで、幾何学的なデザインの虫カゴが出来上がります。コオロギやスズムシにはちと目が粗いですが、ウマオイやマツムシなどを飼って鳴かせれば風流かと。

8月28日
博物館実習



今年度は3名の博物館実習生を受け入れました。ウォーミングアップは遺物の水洗・注記作業です。29・30日には子ども体験博物館の追い込みの対応で活躍してもらいます。



8月11日までに作っていただいた分の土笛を焼き上げました。御覧のようにこだわりの炭火焼きで、割らないようにじっくり火を通します。道行く人からはバーベキューでイモを焼いているようにしか見えないような。



等高線に沿ってスチレンペーパーを切り抜き、積み上げて縮尺1:500の古墳の模型を作りました。松阪市宝塚古墳の人气が高く、鈴鹿市寺田山1号墳は第2位に甘んじました。

7月（文月）

7月2日
サポート会研修会



サポート会の臨時総会に合わせて、常設展示室の展示解説についての研修会を行いました。

7月3日
津市へ資料調査



秋の特別展に向けて、各地に資料調査にお伺いしています。また、合わせて夏の企画展示の資料借用も始まりました。今回は梱包・輸送を自分たちで行うので緊張します。

7月4日
京都大学へ



京都大学大学院人間・環境学研究科の金坂先生からお話があり、古い伊勢国府跡の発掘調査資料を博物館に譲っていただけることになりました。そこで、京都大学へ実検と資料の引き取りにおうかがいしました。現在、洗浄しながら内容と点数を確認しています。

7月8日
防火訓練



多客期を前に防火訓練を行いました。通報・避難訓練と消火設備の使用法の確認そして消火のバケツリレーです。訓練とはいえ生119番は緊張しました。

7月17日
展示作業



企画展「大きな土器と小さな土器の」展示作業中です。今回、企画のメンバーが総入れ替えのためなかなかペースがつかめず、オープン直前まで作業が続きました。

7月18日
関連講演会



三重県埋蔵文化財センターの野嵜美沙子さんに「須恵器からみた古代の伊勢」と題して講演していただきました。県の文化財に指定されたばかりの木造赤坂遺跡の陶質土器への関心が高く、質問が集まりました。

7月18日
企画展取材



新しく誕生した地元FM局"Suzuka Voice"さんの『Afternoon Voice ぐるぐるレポート』で、オープンしたばかりの企画展について生放送のレポート取材を受けました。

7月22日
夏休み体験博物館



さっそく勾玉・土笛づくりで賑わっています。写真は期日限定講座のアンギン（編布）を編もうです。日食の日だったためか参加者が少なめでしたが、静かな雰囲気です。いい作品が出来上がりました。

7月29日
カゴを編もう



期日限定講座のカゴを編もうは定員オーバーとなる盛況でした。

6月（水無月）

6月5日
河曲小学校



雨にもめげず、勾玉づくりと見学におとずれてくれました。

6月6日
抽選会



「布ぞおりを作ろう」の体験講座ですが、定員10名のところに46通67名の応募がありましたので、管理企画グループ全員の見守るなか厳正に抽選が行われました。

6月6日
花畑



ではありません。草刈りから半月もたたないうちにこの状態です。雑草野の花はたかましいです。

6月20日
布ぞおりを作ろう



にっぽん和楽路会（代表 東良枝さん）のみなさんご協力により、にぎやかに布ぞおり作りの講習が行われました。残念ながら抽選に漏れた多くの方々には誠に申し訳ありませんでした。

6月27日
スライド説明会



スライド説明会の最終回は「岸岡山川遺跡」でした。速報展の締めめにふさわしく多くの方に参加していただきました。

6月30日
速報展撤収作業



速報展が終了しましたので、さっそく展示資料の撤収作業に取り掛かりました。資料数が多いので番号を確認しながら慎重に元の整理箱に戻していきます。

5月（皐月）

5月9日
入門講座

5月10日
めじろ

5月14日
山林火災



亀山市歴史博物館の亀山隆館長に「城郭調査最前線！」と題して分かりやすくも深い内容の講演をしていただきました。

5月15日
社会見学



今月も多数の学校からの社会見学・体験学習や出前講座を受け入れました。今日は庄野小学校さんです。

4月8日
博物館サポート会研修



今年度から本格的に活動していただくサポート会のメンバーが、勾玉づくり指導の研修会を行いました。

4月23日
出前授業



鈴西小学校に勾玉づくりの出前授業です。



エントランスのガラス窓に激突したようです。少々意識を失いかけたものの、ふじ飛び立って行きました。ただいま国分寺跡周辺はヒバリ・ウグイスやキジの声で賑やかです。

5月22日
芝刈り



シルバー人材センターさんに博物館周辺の芝刈りと、草抜きをしていただいて、さっぱりとしました。

4月（卯月）

4月10日
市職員の新人研修



今年度鈴鹿市に採用された職員が、博物館の見学にやってきました。

4月25日
第1回 スライド説明会



開催中の速報展に関連して、スライド説明会「伊勢国分寺跡」を開催しました。



国分寺跡の除草作業を撮っていたら、何やらききな臭いにおいとサイレンの音、すぐ北側の山林で火災発生です。すぐ消し止められましたが、怖いですね。

5月23日
第2回 スライド説明会



開催中の速報展に関連したスライド説明会の2回目で、伊勢国府跡と沢城跡の豪華2本立てです。

4月17日
社会見学



今年度の社会見学第1号は、四日市市内部小学校の110名でした。

博物館あれこれバックナンバー
ホームページに戻る